

まぐろから見える世界

(社)責任あるまぐろ漁業推進機構専務 原田雄一郎



世界のマグロの漁獲量は440万ト。そのうち巻網漁船が290万ト(65%)を漁獲している(2009年集計値)。1980年代以降、巻網漁船は大型化、漁獲効率も向上し、その漁獲量は、急速に伸びており、現在も増加を続けている。巻網漁業の果てしなき漁獲量の増加とその未成熟マグロ類の混獲は、早急に手を打たねば、他のマグロ漁業の存続も、

危ういものとなる。この懸念は、急速に国際社会で高まっている。

網漁船の過剰な隻数を削減する必要があるが、まず、第一歩として、この漁獲物の不

待 ◆ ISSFは、マグロ業界、科学者、WWF(世界自然保護基金)が連携して設立された団体だが、米国の伍詰業界が主力メンバーなので、この漁獲物の不

これまで、掛け声はあつたが、大型巻網漁船の増加を止めることのできた者は世界中で誰もいない。ISSFの措置が実効あるものとなることを期待するが、伍詰市場は米国、欧州、中南米、アラブ諸国など、世界中にある。伍詰を供給する全世界の全ての関係者、関係機関に不買行動に協力を得ることは、容易ではあるまい。特定の市場だけで不買行動をやっても、効果は薄い。FOCマグロの場合、日本の刺身市場が実質的に世界唯一の市場であつたので、日本がしっかりと行動すればよかった。この点、伍詰の不買行動の規模は、まさに世界市場を対象とするので、徹底するのは大変だ。

増隻歯止めへ最初の一步

ISSFの大型巻網漁船増加抑制策

◆新規参入漁獲物は、不買行動の決定は、本当に実行されることなれば、効果があるだろう。市場がなくなれば、産業界は存続し得ない。FOCマグロは市場から締め出され、その結果、FOCマグロ延縄漁船は、消滅した。

6月8日、ISSF(国際水産食品持続基金)が、世界の大型巻網漁船の隻数の増加を食い止めるための具体策を発表した。それによれば、資源に悪影響を与えているマグロ巻

キハタを扱わないよう

◆世界の関係者の協

◆国際合意が不可欠◆

また、発展途上国のマグロ漁業開発の一環



を与えているマグロ巻

キハタを扱わないよう

◆世界の関係者の協

◆国際合意が不可欠◆

また、発展途上国の

マグロ漁業開発の一環

(毎月1回掲載)